

こんな様子のお子さんに 心当たりはありませんか？

聞こえているはずなのに、
はっきりしない発音で話す。

聞き返しが
多い。

近くで話すときは問題ないのに、
大きな声で呼んだり離れたところ
から話しかけたりしてもなかなか
気づかない。

説明したことと違う行動を
取ることがある。



聴力検査のスクリーニングで、
うまく測定できない。

こんな場合、お子さんの聞こえに原因があるかも知れません。

幼少期は滲出性の中耳炎に罹りやすく、言葉を獲得する時期に重い中耳炎に罹ると聞こえに影響が出てくる場合があります。また軽度の難聴は、比較的静かで近い距離にいる人との一对一の会話にはさほど問題が感じられないため、発見が遅れる場合があります。

学校の健康診断では、4000Hz 周波数の 25dB の音と 1000Hz 周波数の 30dB の音の 2 種類の大きさが、ヘッドホンの中から聞き取れているかのスクリーニングを行います。このとき、どちらの音も聞き取れていない場合はいくつかの問題が考えられます。中でも、集団のざわついた中にいるため先生方の指示がお子さんの耳に届いていないこと、日常の何気ない言葉の意味が理解できないまま周囲の行動を見て真似をしていることなどは、聴力でなく聞く姿勢の問題と誤解されたり見過ごされたりすることがあります。

もしかしたらとお気づきの場合は、〇〇へご相談ください。

難聴のお子さんへの支援

補聴器のことを知ってください。



補聴器を使用することで日常会話の大半を聞き取ることができます。



周囲の小さな音も拾ってしまうので、静かなところでしか正しくは聞き取れません。

話をするときは、周囲の音をできるだけ除去してください。

椅子を引きずる音が出ないように、テニスボールなどで防音ができると良いです。



電子音（CD，放送機器など）は
子音が聞き取れないことがあります。

聞き取りのテストは、
先生の肉声でお願いします。



座席は 先生の顔に光が当たる位置が良いです。
前から2番目で、聴力の良い方の耳から聞き取れる位置が良いです。
グループにしたときは、真ん中の席になるようにするとどの子の声も届きます。

その他、

水泳学習では補聴器を外します。指示は直接目の前で話すか、ボードなどに書くと伝わります。
運動場や校外学習のような屋外の音は聞き取れないことが多いです。

指示は文字で示すか、全員に説明した後に個別に補足していただけると助かります。

校外学習など外部の方の話は、一番前で聞かせる、話の要点をメモで示す（要約筆記）、
FMマイクの活用などの対応をお願いします。



「今の話からどんなことがわかった?」と
内容の確認をお願いします。